

## 近代7 自由民権運動のPOINT

早稲田の頻出テーマの一つ。四つの時期に分けられる。開始期は士族民権の時期で、士族中心の運動で愛国公党の設立、民撰議院設立建白書提出、愛国社の設立と続く。これに対する讒謗律・新聞紙条例による弾圧をおさえる。早稲田大では教科書の細かい部分まで出題あり。発展期（豪農民権）は、国会期成同盟の結成と集会条例の公布、国会開設の勅諭の発布と、自由党・立憲改進黨が結成される時期である。激化期（農民民権）は福島事件・秩父事件が頻出事項、民権運動衰退の契機となった加波山事件も要注意。再建期は、大同団結運動・三大事件建白運動が重要なテーマとなる。運動の高揚と弾圧法の関連、運動の流れをその中心人物とともにおさえることが肝心。

Pain is inevitable Suffering is optional

秩父事件が起こる

5

三大事件建白運動が起こる

6

### 【解答と解説】

板垣退助や片岡健吉らは民権派の全国組織をめざし愛国社を結成（1875）、これに対し、政府は、時間をかけて立憲制に移行することを決め、漸次立憲政体樹立の詔を出し、地方官会議も設置した。これに対し民権派は活発に攻撃するので、讒謗律・新聞紙条例を制定《a-2》してきびしく取り締まった。

## NO46 自由民権運動 慶應（経済）2016

下の年表は自由民権運動に関する事項を年代の古い順に並べたものである。次のa～cの出来事が起きた時期を、下の年表中の空欄1～8の中からそれぞれ選びなさい。

- a 国会開設の勅諭が出される
- b 漸次立憲政体樹立の詔が出される
- c 保安条例が公布される

1

板垣退助らが左院に民選議院設立建白書を提出する

2

愛国社の再興大会が大阪で開催される

3

国会期成同盟が結成される

4

立憲改進黨が結成される

5

福島事件で河野弘中が逮捕される

6

加波山事件が起きる

7

三大事件建白運動が起きる

8

### 【解答と解説】

愛国社の再興大会が大阪で開催、民権運動が盛り上がりを見せるなか政府は、漸次立憲政体樹立の詔を出す《b=3》。1880年3月国会期成同盟が結成され天皇苑の国会開設の嘆願書を太政官や元老院に提出しようとした。政府はこれを受理せず、4月集会条例を定めて政社の活動を制限した。国会開設の勅諭については大隈重信と伊藤博文らとの対立、明治14年の政変とセットで理解するのが適切。政府は大隈を罷免し、国会開設の勅諭を出して1890年の国会開設を公約した《a=4》。保安条例は三大事件建白運動とセット、三大事件建白運動

## NO45 自由民権運動 慶應（経済）2017

自由民権運動について述べた次の文章を読んで、問1～問7に答えなさい。

征韓派旧参議らが民撰議院設立の建白書を左院に提出したことを契機に、A自由民権運動が展開された。当初は、B新政府の下で安定的地位をえられない士族たちが運動を支えていたが、都市の商工業者にも、さらには地方の豪農層等にも運動は広がっていった。

C大日本帝国憲法に先立ち、民権派による私擬憲法も各地でつくられた。1960年代に発見された「五日市憲法草案」は農村青年が共同でつくったものだ。しかし、その後、D松方正義による緊縮・デフレ政策の下で民権派の武装蜂起等が頻発し、運動は鎮圧されて衰退に向かっている。

朝鮮では（a）事変が勃発すると、E自由党の機関紙『自由新聞』はその2週間後には「朝鮮処分」の論説を掲げ、翌年にはF大阪事件が起きる。自由民権運動にも、対外拡張路線の方向が強まっていった。

問1 上の文中（a）に入る適切な語を漢字2字で記せ。

甲申事変だから甲申

問2 自由民権運動に関連して、次のa～cの時期を、下の年表の空欄1～6から選びなさい（重複使用不可）。

- a 讒謗律・新聞紙条例が制定される
- b 内閣制度が発足する
- c 立憲改進黨が結成される

1

愛国社が大阪に設立される

2

国会期成同盟が結成される

3

自由党が結成される

4

## 早慶への日本史

という激しい陳情運動に対し政府が保安条例を公布して多くの在京民権派を東京から追放するのである《c=8》。

《キーワード》

国会期成同盟→集会条例

## Pain is inevitable Suffering is optional

- ア 前年の政変で政府を去った元参議らが提出の中心となった。
  - イ 提出者たちは、愛国公党の結成につづいて建白書を提出した。
  - ウ 建白書は政府官僚の専制を批判し、憲法を制定するように要求した。
  - エ 建白書は民撰議院を開設して公論にもとづく政治を実現するように求めた。
  - オ 建白書は左院に提出されたが、新聞にも掲載されて世論に影響を与えた。
- 誤文→ウ。憲法の制定を要求でなく、【国会の開設】要求である。

## NO47 立志社・国会期成同盟 早稲田(法)2014

国会開設の請願に関連する記述として正しいものを1つ選びなさい。

- あ 西南戦争中、立志社は国会開設などを求める意見書を提出したが、政府は却下した。
- い 西南戦争後、立志社は愛国社を創立して、国会開設運動を本格的に展開した。
- う 愛国社は第2回大会の呼びかけにもとづいて国会期成同盟が結成された。
- え 国会期成同盟は各地の政社が作成した請願書を取りまとめ、政府に提出した。
- お 政府は国会期成同盟の請願書を受理したが、国会開設の要求は無視した。

正文→あ。教科書 277 頁「立志社は、西南戦争の最中に片岡健吉を総代として国会開設を求める意見書を提出しようとしたが政府に却下され」○である。ここまで深読みしないと正解はない。

- い 愛国社結成は 1875 ✕
- う 愛国社第3回である。✕
- え 提出しようとしたが、政府は受理していない。✕これは教科書を精読していないとわからない。
- お 受理していない。✕

## NO48 自由民権運動と立憲体制 早稲田(国際教養)2015

1874年、a 民撰議院設立建白書が提出され、自由民権運動の口火がきられた。これに対し政府側は、b 漸次立憲政体樹立の詔を出して、立憲政治をめざすことを明らかにした。

1880年、国会開設請願運動は高揚し、政府に国会の開設を迫った。しかし、政府側はこれを拒み、運動に対する規制を強めた。このため運動側は、憲法の起草と政党の結成の準備に取り組むようになった。1881年、c 政府内部では、憲法構想をめぐる対立が生まれたが、政変の結果、欽定憲法制定の基本方針が決定された。一方、民権派は政党を結成して、運動を展開した。

大日本帝国憲法の発布直後、政府は政党の動向に制約されることなく政策実現をはかるとする【A】主義の立場を表明した。初期議会期、【B】と総称された民権派の政党勢力は、藩閥政府と対抗した。しかし、次第に自由党は政府に接近し始め、これに対し立憲改進黨は対外硬派の勢力と連携して政府に対抗した。

日清戦争後、もはや政党を敵視ないし無視することは不可能となった。その結果、d 藩閥勢力と政党勢力の提携関係が公然化するとともに、e はじめての政党内閣も誕生した。また、日露戦争後には、f 藩閥系の内閣と政党系の内閣が交互に政権を担当する時代がおとずれた。1912年末には g 第一次護憲運動が全国に広がり、翌年、内閣が退陣に追いこまれるという事態が生まれた。そして、h その後 1918年には、ついに本格的な政党内閣が成立するに至った。

1. 下線部 a に関連する記述として誤っているものはどれか、1つ選べ。

2. 下線部 b に関連する記述として正しいものはどれか、1つ選びなさい。

- ア 政府は民撰議院設立建白書の要求を受け入れて、この詔を出した。  
→要求を受け入れていないので ✕
- イ 政府はこの詔とあわせて新聞紙条例と集会条例を制定し、運動を取り締まった。○
- ウ 政府は憲法を起草させるため、三権分立の立法機関である元老院を設置した。  
→憲法起草は枢密院だから ✕
- エ 政府は憲法案の審査にあたらせるため、諮問機関である大審院を設置した。  
→大審院でなく枢密院である。✕
- オ 政府は元老院が起草した憲法案を、最終的には採用しなかった。○正文。  
→正解→オ。教科書 276 頁脚注③参照→元老院の憲法草案は数次の案を経て、1880(明治13)年に「日本国憲按」として完成した。しかし岩倉具視らから、その内容が日本の国体にあわなないとして反対され、廃案となった。

## NO49 士族の反乱 早稲田(商)2009

士族の反乱に関する次の記述のうち、誤っているものを2つ選べ。

- 1. 1874年、佐賀では征韓党が江藤新平を擁して蜂起した。
- 2. 1876年、熊本では敬神党が断髪令に反対して蜂起した。断髪令 ✕復古的攘夷
- 3. 1876年、福岡では不平士族が国権拡張などを主張して蜂起した。正文、秋月の乱
- 4. 1876年、山口では村田蔵六らが廢刀令に反対して蜂起した。村田蔵六 ✕、前原一誠
- 5. 1877年、鹿児島では私学校生らが西郷隆盛を擁して挙兵した。正文。

正解→2・4

## NO50 士族の反乱 慶應(経済)2015

(1) 士族の反乱前後の状況に関して述べた次の1~4の文章の中から、**誤りを含むものを1つ**選びなさい。

- 1 明治政府は、士族に秩禄を支給していたが、財政が悪化していたため秩禄奉還の法を定めて秩禄を廃止した。その後、士族の反乱が頻発したため、貧窮した士族に対して金禄公債証書を与えた。
- 2 征韓論争に敗れて参議を辞職した江藤新平は、佐賀で征韓党を率いて反乱を起こした。また廢刀令が出された後、熊本で神風連の乱、福岡で秋月の乱が起きたが、政府によって鎮圧された。
- 3 明治六年の政変後、愛国公党を組織した板垣退助らは、有司専制を批判して国会開設を

早慶への日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

求める民撰議院設立建白書を左院に提出した。板垣はさらに土佐で立志社を設立した。  
 4 西南戦争の後、大蔵卿の大隈重信は、酒造税などの増税と官業払下げなどを行なうとともに、イギリス型の議院内閣制の早期導入を主張したが、明治十四年の政変で下野した。

誤文→

**N051 廃藩置県後の地方制度 慶應(経済)2008**

下の年表は三新法の制定前後の自由民権運動、士族反乱と政府の対応についての出来事を古い順に並べたものである。次の a~d の事項は年表のどこに入れるのがもっとも適切か、年表中の空欄 1~5 のなかから選びなさい。

- a. 集会条例を制定する
- b. 西南戦争が勃発する
- c. 漸次立憲政体樹立の詔を出す
- d. 民撰議院設立建白書が提出される

- 1  
 征韓論が否決され、征韓派参議が辞職する
- 2  
 大久保利通・板垣退助・木戸孝允が大阪で会議を開き、漸進的な国会開設方針を決定する。
- 3 漸次立憲政体樹立の詔  
 第1回地方官会議を開く
- 4  
 三新法を制定する
- 5

| 政府   | 民権派・その他   |
|--|---|
| ②1874✕ <b>台湾出兵</b> (征台の役)<br>指揮官→ <b>西郷従道</b><br>反対→ <b>木戸孝允</b> 下野<br><br>⑤1875 <b>大阪会議</b><br>大久保孤立を救う<br>⑥ <b>漸次立憲政体樹立</b> の詔<br><b>元老院</b> を作り立法の仕事させ、憲法を作らせる。裁判のために <b>大審院</b> を作る。民情を知るために <b>地方官会議</b> を作る。これによって <b>木戸、板垣は参議に戻る</b> ことになり、愛国社は休業状態となる。 | ①1874 <b>民撰議院設立建白書</b> 提出<br>③1874 <b>立志社</b> (板垣退助) 【土佐】<br>社長は部下の ( <b>片岡健吉</b> )<br>④1875 <b>愛国社</b> 結成 (大阪)<br>→板垣の政府復帰で消滅<br><br> |
| 政府   | 民権派・その他   |

①1875 **讒謗律**・**新聞紙条例**  
 →ごんべんにくろひめてんてん

②1876 **秩録処分**・**廃刀令**

1878✕ **紀尾井坂** の変  
 (大久保利通内務卿【石川県士族】暗殺される)

1878 **参謀本部** 創設：山県の思惑 (陸軍の最高軍令機関)



⑦1880 **集会条例** ←弾圧  
 国会期成同盟の結集など、民権運動の盛り上がりに対抗した集会。結社の規制法。  
 ⑧政府は国会既成同盟の嘆願書を **受理しなかった**...

弾圧：民権派  
 ③1876~77✕不平士族の乱  
 1877✕ **西南** 戦争  
 →武力で敗北、ならば言論だ！  
 ④1877 **立志社** 建白  
 土佐に帰った板垣が、**片岡健吉**・植木枝盛・林勇造らと結成。  
 徳島の自助社、福島の **石曜社**、茨城の潮来社等。愛国社は、こうした政社を束ねた全国組織として立志社を中心に **大阪** で結成された。立志社は西南戦争中の1877年に国会開設を求める立志社建白を天皇に提出しようとしたが政府に **却下** された。  
 ⑤1880愛国社第 **3** 回大会の呼びかけにもとづき **国会期成同盟** が結成された…士族に加え豪農や商工業者も参加  
 ⑤→ **国会開設請願運動** を展開  
 請願数31万9千 (現在の3千万人分)  
**個人の土地から税をとったのだから、それをどう使うかはとられた人に相談すべきだ!**  
 演説会ブーム  
 新聞ブーム  
 自由党壮士となった **川上音二郎** は時局を風刺した歌に仕立て、オッペケペー節として演説代わりに演じたことが一橋大で出た。